

第143期中間報告書

(平成20年3月1日から平成20年8月31日まで)



松 竹 株 式 会 社

【目次】

■株主の皆様へ	2
■当中間期の概況（連結）	2
■業績の推移・連結	7
中間連結貸借対照表	9
中間連結損益計算書	10
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）	10
中間連結株主資本等変動計算書	11
■業績の推移・個別	12
中間貸借対照表	14
中間損益計算書	15
中間株主資本等変動計算書	16
■当社の情報	17
■グループ会社の状況	19
■株主メモ	21
■株主優待基準	22

株主の皆様へ

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第143期中間期（平成20年3月1日から平成20年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当中間期の概況（連結）

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国経済の混乱に端を発した金融市場の低迷に加え、原油をはじめとする原材料価格の高騰などにより、企業の設備投資や個人消費が足踏み状態となり、景気の減速感が強まる状況で推移しました。

映画界は、依然スクリーン数の増加傾向にありますが、特に洋画の不振が影響し、興行収入は前年同期に比べ減少し、厳しい状況が続いております。その中で、邦画は人気テレビドラマの映画化等、流行を捉えた作品が幅広い客層の支持を得て、前年同期を上回る成績となりました。演劇界は、伝統文化の歌舞伎やミュージカルをはじめ、人気のある俳優や魅力ある演目による話題性の高い舞台が観客を集めました。また、企画によってお客様による取捨選択の目が厳しく興行の格差が一段と顕著になってきており、お客様のニーズに応じた魅力ある作品の提供が強く求められております。不動産業界は、サブプライムローン問題が表面化し経営環境は急速に悪化しており、オフィス市況でも空室が増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、より一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めてまいりましたが、映像関連事業において業績の低迷から脱し得ませんでした。以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高44,762百万円（前年同期比93.6%）、営業損失1,209百万円、経常損失1,515百万円となり、特別利益144百万円、特別損失1,762百万円を計上し、中間純損失は、2,446百万円となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、上記成績を鑑み、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく存じます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

各事業別の中間期売上高は、次のとおりです。

事業別	中間期売上高（前年同期比：％）
映像関連事業	24,179百万円（88.7％）
演劇事業	12,507百万円（105.9％）
不動産事業	3,168百万円（105.0％）
その他の事業	4,907百万円（86.0％）

今後の見通し

今後のわが国経済は、引き続き先行きが不透明な中、原材料価格の高騰に伴う物価上昇や株式市況の低迷などによる、企業業績の悪化や消費意欲の減退が懸念され、当面停滞を続ける可能性が高いと思われます。このような状況の中で、当社グループにとりましては、消費者の価値観の多様化や異業種からの参入等、更に厳しい経営環境が続くことと予想されます。

当社グループは、伝統文化の担い手として社会に貢献するとともに、お客様のニーズに応える魅力ある作品を提供して参ります。更に信頼され続ける企業を目指し、事業活動とその基盤となる人材育成に努めるとともに、上期の不振を払拭し業績の向上に邁進いたします。また、内部統制プロジェクトチームを中心に、更なるコンプライアンスとリスクマネジメントの強化を積極的に推し進めて参ります。

映像関連事業は、下期に邦画6本、洋画2本、特撮2本、シネマ歌舞伎2本を配給します。第32回モントリオール世界映画祭コンペ部門グランプリを受賞した9月公開「おくりびと」をはじめ、10月「フレフレ少女」、12月「特命係長 只野仁 最後の劇場版」「赤い糸」等、テレビ局とコラボレートした邦画作品を中心に、歴代主演キャストの共演で話題の「大決戦！超ウルトラ8兄弟」、人気シリーズ最新作「釣りバカ日誌19 ようこそ！鈴木建設御一行様」等、良質な作品を公開します。興行は、今期一番の期待作「ハリー・ポッターと謎のプリンス」の全米公開時期延期が影響を及ぼすと懸念されるものの、当社配給作品に加え、レオナルド・ディカプリオ主演「ワールド・オブ・ライズ」、ブラッド・ピット主演「ベンジャミン・バトン 数奇な人生」、ウィル・スミス主演「セブン・パウンズ（原題）」など洋画の大作を編成し、収益の確保に努めます。興行網では、連結子会社である㈱松竹マルチプレックスシアターズにおいて、「MOVIXつくば」が10月31日にオープンします。テレビ制作は、10時間の新春ワイド時代劇「寧々（ねね）～おんな太閤記」と「必殺仕事人」の新シリーズを大きな柱に、好評の2時間サスペンス等を制作します。映像ソフトは「犬と私の10の約束」「築地魚河岸三代目」「パンダフルライフ」「ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌」など話題の新作に加え、「男はつらいよ」40周年記念プロジェクトの一環である「男はつらいよ HDリマスター版」など松竹映画の名作を順次DVD化し旧譜の活性化にも積極的に取り組みます。㈱衛星劇場は、10月よりスタートするCS放送ハイビジョン化への対応を積極的に進めるとともに、視聴者の生活スタイルに合わせたよりよい番組編成に取り組み、CS放送事業を強化していきます。

演劇事業は、歌舞伎座で「芸術祭十月大歌舞伎」、豪華顔ぶれによる「壽初春大歌舞伎」、新橋演舞場で若手を中心とした「花形歌舞伎」、藤山直美の「年忘れ 喜劇まつり」、浅草寺境内で二ヶ月に渡り公演する平成中村座「通し狂言 仮名手本忠臣蔵」すみだのねこにちのあまがけ「隅田川続 法界坊」、三越劇場で初春新派公演「太夫さん」、浅草公会堂で若手による恒例の「新春浅草歌舞伎」を上演します。また関西では、大阪松竹座で藤山直美の「なのおみまつり」、「壽初春大歌舞伎」、南座で京都の掉尾を飾る「當る丑歳 吉顔見世興行 東西合同大歌舞伎」等を上演し、東西各劇場にてお客様に喜んでいただける魅力ある舞台を創ります。シネマ歌舞伎は昨年10月新橋演舞場において山田洋次監督が演出を手がけ収録した好評の舞台「人情噺文七元結」にんじょうばなしぶんしちもっとういの公開が期待されます。またMETライブビューイングは3シーズン目に入り、今後もニューヨーク・メトロポリタン歌劇場の充実したオペラ作品を提供していきます。

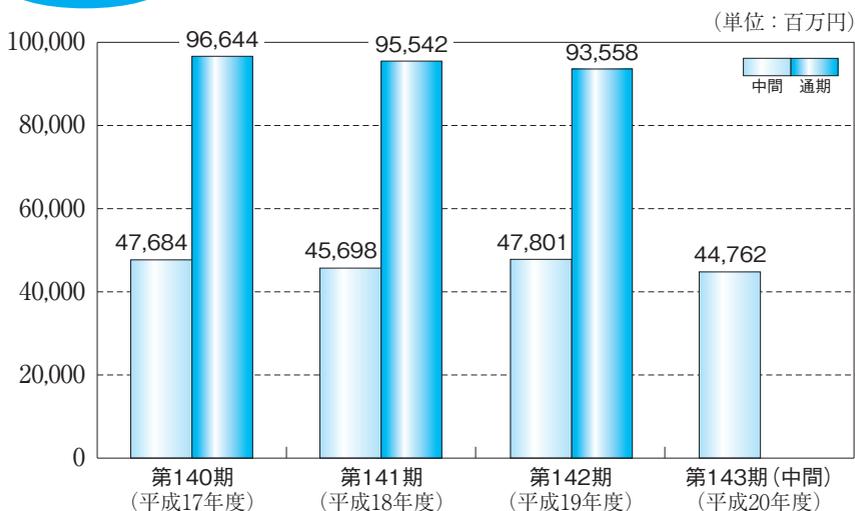
不動産事業は、引き続き松竹京都撮影所リニューアル工事を進め、立命館大学・京都府との産学公連携プロジェクトにも備えます。既存ビルでは建物施設の保全管理に注力し、快適な環境づくりに努め、積極的に全国保有不動産の有効活用を推進することで安定収入の確保に努めます。

その他の事業は、劇場用商品事業につきまして、ウェブとモバイルで利用できる映画グッズ専門の通販ショップ「Froovie／フルビー」を9月より新たに展開し、顧客ニーズに即応した通販チャンネルの開拓を進めるとともに、既存事業の見直しと新規事業の企画開発に努めます。ご好評いただいている歌舞伎公式ウェブサイト「歌舞伎美人」では、第一回「松竹歌舞伎検定」を本年11月に実施します。更に「歌舞伎美人」のモバイル版もスタートする予定です。

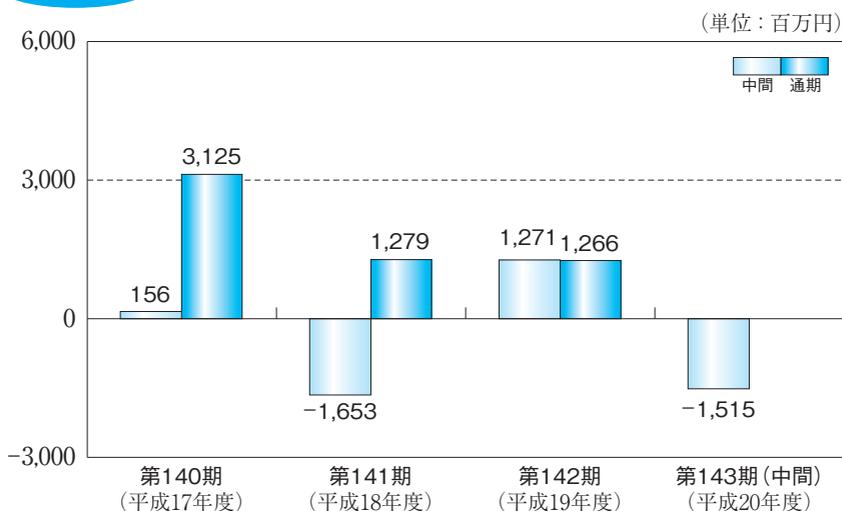
株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの事業活動への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移・連結

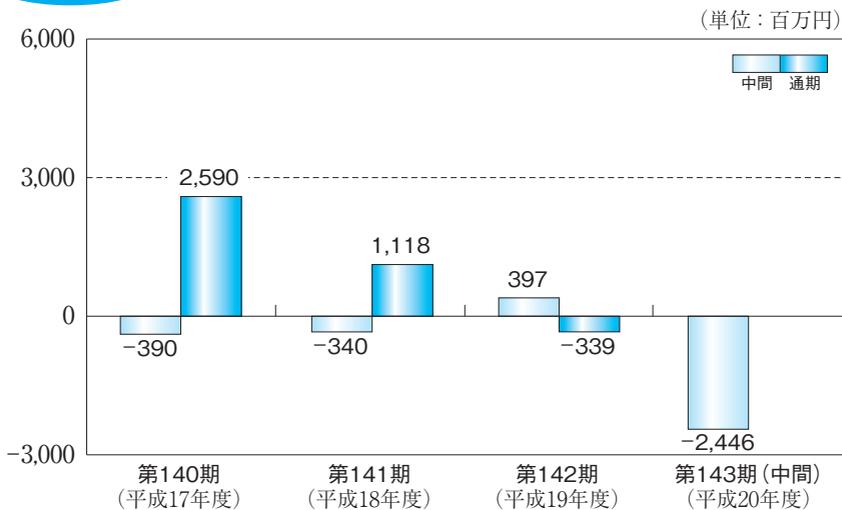
売上高



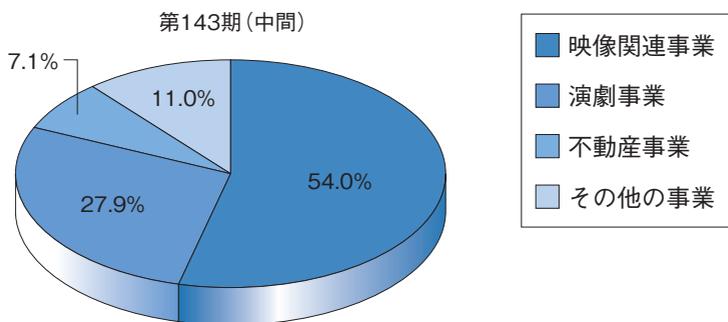
経常利益



当期純利益



事業別売上



中間連結貸借対照表

(平成20年8月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	29,343,580	流動負債	31,005,543
現金及び預金	6,189,054	支払手形及び買掛金	10,301,845
現金及び預金(責任財産限定対象)	645,703	短期借入金	2,586,200
信託預金(責任財産限定対象)	3,719,154	一年以内返済予定長期借入金	6,553,340
受取手形及び売掛金	6,858,463	一年以内返済予定長期借入金(責任財産限定)	984,000
たな卸資産	5,730,390	一年以内償還予定社債	100,000
前渡金	2,099,485	未払金	5,418,884
前払費用	1,157,488	未払費用	972,808
繰延税金資産	784,115	未払事業所税	48,088
立替金	589,093	未払法人税等	351,522
未収消費税等	298,587	未払消費税等	136,309
その他	1,312,597	賞与引当金	315,327
貸倒引当金	△40,554	リース資産減損勘定	43,784
固定資産	129,209,500	その他	3,193,433
有形固定資産	99,538,785	固定負債	69,691,564
建物及び構築物	22,242,134	社債	1,800,000
信託建物(責任財産限定対象)	16,028,027	長期借入金	33,810,900
設備	15,843,083	長期借入金(責任財産限定)	25,507,500
機械装置及び運搬具	959,680	繰延税金負債	1,249,935
工具・器具・備品	1,702,412	退職給付引当金	1,755,662
土地	22,774,564	役員退職慰労引当金	537,423
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	リース資産減損勘定	104,766
建設仮勘定	1,147,083	受入保証金	4,925,375
その他	89,963	負債合計	100,697,107
無形固定資産	3,271,664	純資産の部	
借地権	1,283,969	株主資本	54,440,317
商標権	12,473	資本金	28,143,695
ソフトウェア	504,514	資本剰余金	25,202,974
その他	1,423,028	利益剰余金	2,295,307
投資その他の資産	26,399,051	自己株式	△1,201,659
投資有価証券	14,787,128	評価・換算差額等	2,510,037
長期貸付金	2,798,262	その他有価証券評価差額金	2,510,037
長期前払費用	640,694	新株予約権	77,522
繰延税金資産	218,087	少数株主持分	832,913
差入保証金	5,804,435	純資産合計	57,860,790
その他	2,258,666	負債・純資産合計	158,557,898
貸倒引当金	△108,224		
繰延資産	4,817		
株式交付費	4,817		
資産合計	158,557,898		

中間連結損益計算書

(平成20年3月1日から
平成20年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	44,762,316
売上原価	27,728,475
売上総利益	17,033,840
販売費及び一般管理費	18,243,098
営業損失	1,209,257
営業外収益	428,901
受取利息及び配当金	255,631
その他	173,269
営業外費用	735,179
支払利息	554,533
借入手数料	98,827
持分法による投資損失	4,987
その他	76,831
経常損失	1,515,536
特別利益	144,697
合意解約金	144,697
特別損失	1,762,328
固定資産売却損	6,498
固定資産除却損	244,701
固定資産臨時償却費	48,698
映像商品等償却損	57,155
投資有価証券売却損	78,359
和解金	60,000
減損損失	1,266,916
税金等調整前中間純損失	3,133,167
法人税、住民税及び事業税	233,700
法人税等調整額	△463,867
少数株主損失	456,625
中間純損失	2,446,375

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(平成20年3月1日から
平成20年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,235,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	116,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	9
現金及び現金同等物の増減額	△3,658,170
現金及び現金同等物の期首残高	9,430,356
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,772,186

中間連結株主資本等変動計算書

（平成20年3月1日から
平成20年8月31日まで）

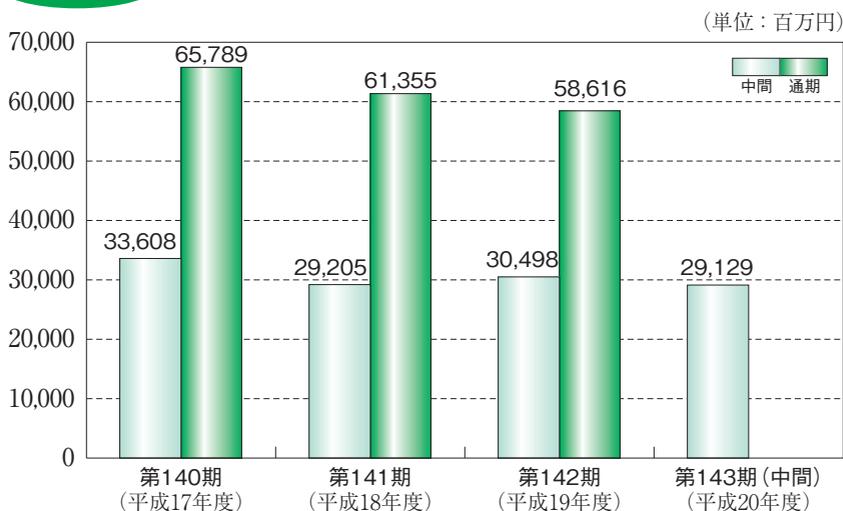
（単位：千円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成20年2月29日残高	28,143,695	25,066,497	5,114,202	△1,349,917	56,974,478
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△372,520		△372,520
中間純損失			△2,446,375		△2,446,375
自己株式の取得				△31,587	△31,587
自己株式の処分		136,476		184,374	320,851
持分法適用会社の持分率変動による差額				△4,528	△4,528
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	136,476	△2,818,895	148,258	△2,534,160
平成20年8月31日残高	28,143,695	25,202,974	2,295,307	△1,201,659	54,440,317

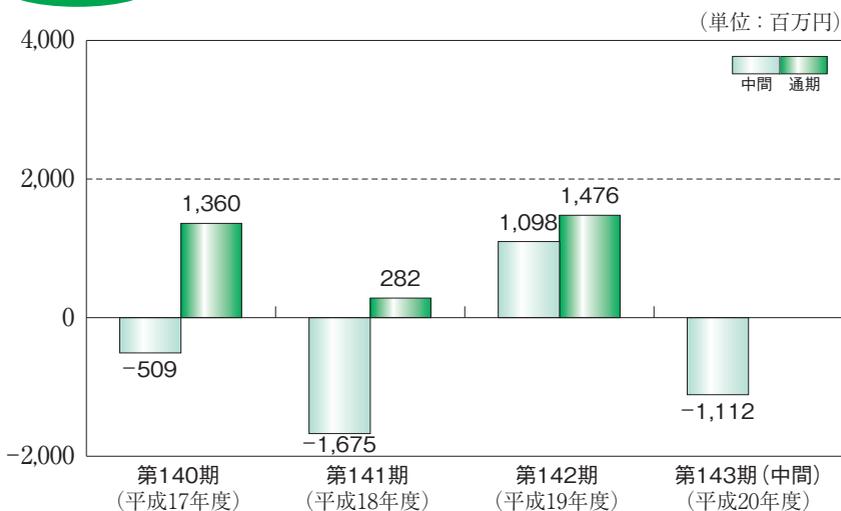
	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成20年2月29日残高	2,550,071	2,550,071	65,708	1,290,210	60,880,468
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△372,520
中間純損失					△2,446,375
自己株式の取得					△31,587
自己株式の処分					320,851
持分法適用会社の持分率変動による差額					△4,528
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）	△40,034	△40,034	11,813	△457,296	△485,517
中間連結会計期間中の変動額合計	△40,034	△40,034	11,813	△457,296	△3,019,677
平成20年8月31日残高	2,510,037	2,510,037	77,522	832,913	57,860,790

業績の推移・個別

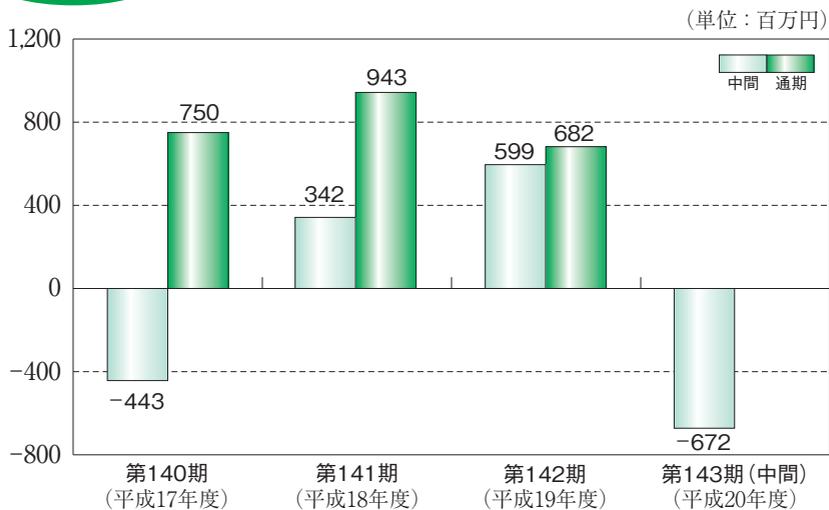
売上高



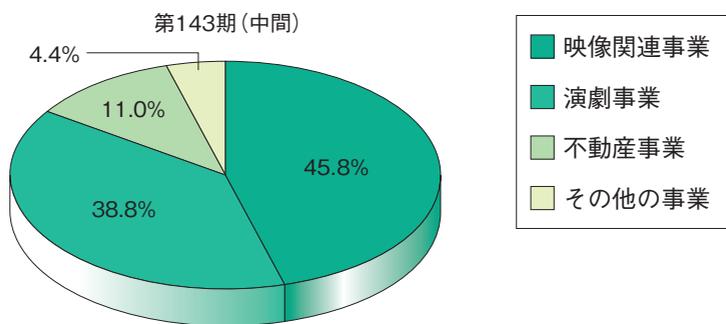
経常利益



当期純利益



事業別売上



中間貸借対照表

(平成20年8月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	19,338,306	流動負債	22,317,789
現金及び預金	3,641,376	買掛金	7,015,873
受取手形	17,093	短期借入金	6,695,000
売掛金	5,126,171	社債(1年以内償還)	100,000
商製品	1,307,887	未払金	4,955,002
製材品	64,962	未払費用	574,542
原材料	2,211	未払事業所税	26,298
仕掛品	3,061,056	未払法人税等	77,136
貯蔵品	18,477	前受金	1,286,047
前渡金	1,924,026	預り金	1,263,380
払費用	219,586	賞与引当金	218,835
繰延税金資産	642,575	その他の流動負債	105,672
短期貸付金	402,070	固定負債	36,850,253
立替金	582,076	社債	1,800,000
未収消費税等	295,166	長期借入金	28,575,000
その他の流動資産	2,087,802	繰延税金負債	165,887
貸倒引当金	△54,231	退職給付引当金	1,002,599
固定資産	98,494,912	役員退職慰労引当金	406,800
有形固定資産	54,427,222	受入保証金	4,899,966
建物	21,173,983	負債合計	59,168,043
構築物	7,801,111	純資産の部	
機械及び装置	108,573	株主資本	56,063,574
車両運搬具	662,014	資本金	28,143,695
工具・器具・備品	1,647	資本剰余金	25,065,385
土地	1,518,835	資本準備金	23,068,561
建設仮勘定	22,373,391	その他資本剰余金	1,996,824
無形固定資産	787,663	利益剰余金	3,561,139
借地権	1,312,810	その他利益剰余金	3,561,139
商標権	974,866	固定資産圧縮積立金	2,533,935
ソフトウェア	12,084	繰越利益剰余金	1,027,203
投資その他の資産	325,859	自己株式	△706,645
投資有価証券	42,754,879	評価・換算差額等	2,528,896
関係会社株式	13,397,604	その他有価証券評価差額金	2,528,896
関係会社出資金	12,430,688	新株予約権	77,522
長期貸付金	9,296,068	純資産合計	58,669,993
差入保証金	3,894,824	負債・純資産合計	117,838,036
その他の投資	4,817,627		
貸倒引当金	935,863		
繰延資産	△2,017,796		
株式交付費	4,817		
資産合計	117,838,036		

中間損益計算書

(平成20年3月1日から
平成20年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	29,129,445
売 上 原 価	19,660,600
売 上 総 利 益	9,468,845
販売費及び一般管理費	10,710,318
営 業 損 失	1,241,473
営 業 外 収 益	481,441
受取利息及び配当金	382,614
そ の 他	98,827
営 業 外 費 用	352,222
支 払 利 息	271,470
そ の 他	80,752
経 常 損 失	1,112,254
特 別 利 益	189,697
関係会社株式売却益	45,000
合意解約金	144,697
特 別 損 失	310,767
固定資産除却損	165,880
固定資産臨時償却費	48,698
関係会社株式評価損	71,272
減 損 損 失	24,916
税引前中間純損失	1,233,323
法人税、住民税及び事業税	13,861
法 人 税 等 調 整 額	△574,663
中 間 純 損 失	672,520

中間株主資本等変動計算書

（平成20年3月1日から
平成20年8月31日まで）

（単位：千円）

	株 主 資 本								
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	固定資産圧縮積立金	その他利益剰余金繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成20年2月29日残高	28,143,695	23,068,561	1,997,935	25,066,497	2,533,935	2,074,188	4,608,124	△682,056	57,136,260
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当						△374,464	△374,464		△374,464
中間純損失						△672,520	△672,520		△672,520
自己株式の取得								△31,587	△31,587
自己株式の処分			△1,111	△1,111				6,999	5,887
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）									
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△1,111	△1,111	—	△1,046,985	△1,046,985	△24,588	△1,072,685
平成20年8月31日残高	28,143,695	23,068,561	1,996,824	25,065,385	2,533,935	1,027,203	3,561,139	△706,645	56,063,574

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成20年2月29日残高	2,568,720	2,568,720	65,708	59,770,689
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△374,464
中間純損失				△672,520
自己株式の取得				△31,587
自己株式の処分				5,887
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	△39,823	△39,823	11,813	△28,010
中間会計期間中の変動額合計	△39,823	△39,823	11,813	△1,100,695
平成20年8月31日残高	2,528,896	2,528,896	77,522	58,669,993

当社の情報 (平成20年8月31日現在)

□会社の概要 ●●●

商 号 松竹株式会社
設 立 大正9年11月
資 本 金 28,143,695,022円
従 業 員 数 610名

本社、支社および営業所

本 社

東京都中央区築地四丁目1番1号

電話 03-5550-1533 (総務課)

関 東 支 社 (東 京)

関 西 支 社 (大 阪)

九州営業所 (福 岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

□役 員 ●●●

代表取締役会長	大 谷 信 義
代表取締役社長	迫 本 淳 一
専 務 取 締 役	野 田 助 嗣
専 務 取 締 役	安 孫 子 正
常 務 取 締 役	中 島 厚
取 締 役 相 談 役	上 條 清 文
取 締 役	油 谷 昇
取 締 役	白 井 信 彦
取 締 役	松 本 輝 起
取 締 役	関 一 郎
取 締 役	荒 牧 大 四 郎
取 締 役	武 中 雅 人
取 締 役	細 田 光 人
常 勤 監 査 役	岡 田 敏 明
監 査 役	柏 木 俊 彦
監 査 役	中 川 勝 弘

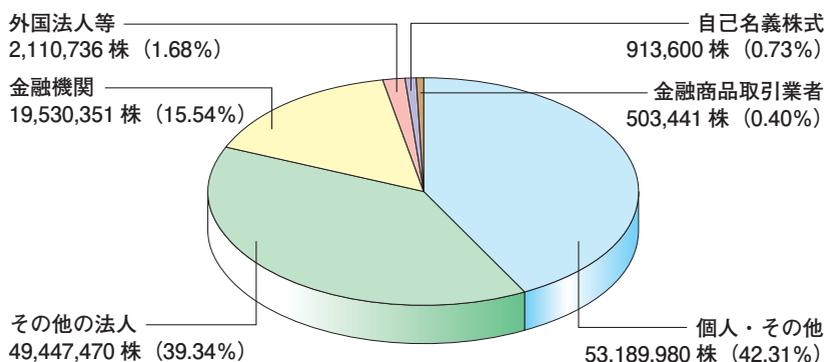
□株式の状況 ●●●●

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 125,695,578株（自己株式 913,600株を含みます。）

株主数 20,062名（前期末比 518名増加）

所有者別株式分布表



大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数	出資比率
株式会社歌舞伎座	4,802,000株	3.82%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500,000	3.58
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344,000	3.46
セコム株式会社	3,700,000	2.94
三井物産株式会社	3,700,000	2.94
株式会社大林組	3,600,800	2.86
大成建設株式会社	3,444,000	2.74
西松建設株式会社	3,288,000	2.62
株式会社東京放送	2,542,000	2.02
東京急行電鉄株式会社	2,062,600	1.64

グループ会社の状況 (平成20年8月31日現在)

□連結子会社 ●●●

- ・ 松竹衣裳(株)
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・ (株)松竹サービスネットワーク
映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備
- ・ 松竹関西サービス(株)
不動産管理・清掃
- ・ (株)ショウビズスタジオ
舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・ 中映(株)
浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・ 松竹芸能(株)
タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・ (株)衛星劇場
CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・ (株)松竹デジタルセンター
映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・ (株)松竹マルチプレックスシアターズ
複合映画館(シネマコンプレックス)の開発・運営
- ・ (株)トライメディア
劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等
- ・ 松竹音楽出版(株)
映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・ 松竹京都映画(株)
劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負【松竹京都映画撮影所】
- ・ 歌舞伎座舞台(株)
演劇舞台の大道具製作・販売
- ・ (株)松竹ニューセレクト
複合映画館「MOVIX本牧」(8スクリーン)の映画館運営

- ・(株)伝統文化放送
C S ・ C A T V 放送局、ソフト製作・編集【歌舞伎チャンネル】
- ・(株)関西美術
演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳(株)
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)ムービーチャンネル
C S の P P V 放送局、ソフト製作・編集【POWER PLAT'S】
- ・(株)松竹エンタテインメント
俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成
並びにマネージメント
- ・(株)ドーガ堂
通信回線を利用したデジタルコンテンツの企画・製作・販売
- ・匿名組合築地ビルキャピタル
A D K 松竹スクエアの賃貸借および管理

□持分法適用会社●●●

- ・アナザヘヴン(株)
映画の製作および配給、並びにその請負・販売
- ・(株)サンシャイン劇場
サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株)
複合映画館「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン)の運営
- ・(株)イヤホンガイド
演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・日本映像振興(株)
映像関連イベントの企画・運営
- ・(株)歌舞伎座
歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場(株)
新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	映画優待期間	演劇優待期間
毎年2月末日	毎年6月1日～同年11月30日	毎年6月分～同年11月分
毎年8月末日	毎年12月1日～翌年5月31日	毎年12月分～翌年5月分

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）	
1,000株以上	80ポイント	（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント	（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント	（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント	（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント	（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント	（140ポイント）

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様につき20ポイントが必要となります。新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」「プラチナルーム」はご利用になれません。

株券の電子化について

平成21年（2009年）1月から株券の電子化（ペーパーレス化）が実施される予定です。これに伴い、現在発行されている株券は無効となりますが、株主様のお名前が株主名簿に記載されている限り、株主様としての権利は従来と同様に保護されます。

現在、証券保管振替機構をご利用ではなく、お手元に株券をお持ちの株主様は、株券が株主様ご自身の名義になっていることをご確認のうえ、名義が異なる場合は、名義書換手続を行って下さいますよう、お願いいたします。名義が異なったままで、株券の電子化が実施されますと株主様としての権利を失う可能性がありますのでご注意ください。

お問い合わせ先：最寄りの証券会社もしくは株主名簿管理人

日本を
もっと明るく
しなくっちゃね。



男はつらいよ

www.tora-san.jp

